

献血をご遠慮いただく場合

- (1) 健康上の制約：献血は一定の健康基準を満たす必要があり、特定の疾患、感染症、または医学的制約がある場合、献血を控える必要があります。例えば、重要な疾患、感染症の疑い、出血性障害などがある場合、献血はできません。
- (2) 睡眠、食事：過度な睡眠、食事ある場合、体調を考慮し献血をご遠慮いただいています。
睡眠時間 6 時間以上 朝食はとってください。
- (3) 妊娠・授乳：妊娠中や授乳中の女性は通常、献血を避けることが推奨されます。これは母体や胎児への影響を考慮したためです。
- (4) 最近の手術や治療：最近の手術や治療が行われた場合、その回復期間中は献血を控える必要があることがあります。手術後や治療後の回復状態を待つことが一般的です。
- (5) 薬物使用：特定の薬物の使用や薬物乱用がある場合、それに関連するリスクがあるため、一時的に献血を避けることが必要かもしれません。
- (6) 体重や年齢の制約：一定の体重や年齢制約があることがあり、これらを満たさない場合、献血を受けることができないことがあります。
献血可能な範囲
年齢：18 歳～69 歳 体重：女性 40kg 以上 男性 45kg 以上
- (7) 器具を共用してピアスをあけた場合、6 カ月経過していない方、共用していない場合は、1 カ月間経過していない方は遠慮願います。
- (8) 6 か月以内に、いれずみを入れた方。
- (9) インフルエンザ、日本脳炎、コレラ、A 型肝炎、肺炎球菌、百日ぜき、破傷風等の不活化ワクチンおよびトキソイドの接種を受けた方は、接種後 24 時間の献血をご遠慮いただいています。

[当日の体調不良、服薬中、発熱等の方 | 献血をご遠慮いただく場合 | 献血の流れ | 献血について | 日本赤十字社 \(jrc.or.jp\)](#)より引用しております